

花水木だより

第 99 号 令和 5 年 2 月
千種区鯉城会会報
発行/花水木鯉城会



〈 花水木鯉城会の輪を広げよう 〉

お知らせはこちらから⇒





目 次

| | | |
|-------------------------------|-------|-------|
| 表 紙 | | 1 |
| 目 次 | | 2 |
| 巻頭言「新年ご挨拶」会長 小松憲次 | | 3 |
| 新年懇親会報告 | | 4～5 |
| 第 19 回 趣味の作品展 | | |
| 総括 | | 6 |
| 出展作品 | | 7～11 |
| 出展作品目録 | | 12～13 |
| 社会福祉協議会での展示 | | 14 |
| 鯨城会 第 21 回 グラウンド・ゴルフ交歓会 観戦記 | | 15 |
| 鯨城会 第 5 回 16 区フェスティバル レポート | | 16 |
| コーヒサロンサークル活動 | | 17 |
| ボランティア活動報告 | | 18～19 |
| 堀川清掃大作戦/児童館でクリスマス工作/キラキラサンタ活躍 | | |
| 編集後記 | | 19 |
| 行事予定 次号予告 | | 20 |



表紙の言葉 「梅に鶯、ミカンにメジロ？」

加治 敏男 (29 期 陶芸)

雪が溶け、梅に蕾が付き始めると、庭の木にメジロがやってくる。餌探しに忙しげ。ミカンを差し出したら、食べるに忙しい。こんな光景は以前には見られなかった。最近の都市化の影響だろうか？ 来年もやってくるだろうか？

頭言 「新年ご挨拶」

感謝の心と日本人



花水木鯨城会
会長 小松 憲次 (32期 美術)

新年明けましておめでとうございます。

昨年末11月20日～12月18日の凡そ1か月間私たちをTVに釘付けにしたサッカーのFIFAワールドカップ(W杯)カタール大会。試合結果はさておき、試合後の日本チームのロッカールームが綺麗に清掃されている事や、日本人サポーターが試合後の客席でゴミを拾う様子が話題になり、今や各国のサポーターにも普及しました。その中でカタールの放送局アルジャジーラが「なぜ日本のファンは清掃をするのですか？」と一人の女性サポーターに質問したところ、「使う前より使った後を綺麗にすること。それは当たり前。いつも感謝の心を持つことを習っています」と説明しました。

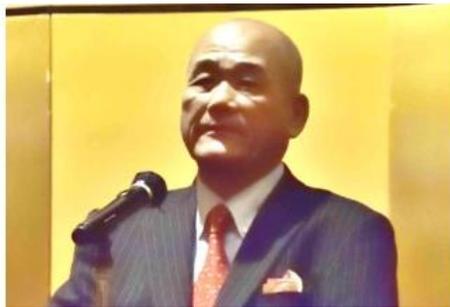
そもそも感謝＝ゴミ拾いの“起源”は、日本の伝説的な選手ヒデトシ・ナカタから始まっていると言われていています。「彼は酷いファウルであったとしてもいつも立ち上がる選手に手を差し伸べる」と言っていました。また、「外国でプレーする時は日本全体を代表しているのだ」と話していました。また、別のサポーターは「対戦相手にも敬意を示します。空手や武道（柔道・剣道・弓道・長刀なぎなた）などでは勝った喜びを出しません」と説明、「中田英寿のポリシーや日本ならではの武士道の精神が理由にある」と回答。「世界中にもっとこれが広がればいいと思っています」という答えで映像は締めくくられました。

日本人であることを誇らしく思います。サッカーサポーター同様、私達花水木会員も日本人としての矜持を常に心のどこかに持ちつつ、ご近所クリーンキャンペーン・公園清掃・デイサービスそしてコーヒーサロン等その他沢山のボランティア活動に常に感謝の心で取り組んで行きたいと思えます。本年も皆様にとって幸せな一年であることを祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

花水木鯨城会「新春懇親会」報告

総務委員長 高橋 満理(30期 環境)

令和5年(2023年)1月6日(金)の12時~14時、木曾路・瓦町店にて花水木鯨城会の新年懇親会が開催されました。参加者は55人。昨年より20人少ないせいか、会場の「木曾路・瓦町店の3Fは窮屈でなく快適でした。しかし、コロナ感染の心配もあり、内心、中止の可能性もあるかと不安でした。実は、開催前夜、18時に、木曾路担当者のFさんと、参加者の確認をしました。「参加者は56人ですね」と言われ、「はい」と答えましたが、その1時間後、参加予定の方から「実は、体調が、……」と、メールが入りました。最後の最後まで、コロナの心配に脅かされました。



小松会長 挨拶



乾杯 榎澤副会長

12時、司会の「只今より」の声で一瞬会場は静粛になり、「新年懇親会」は期待一杯の雰囲気の中でスタートしました。

小松会長の挨拶に元気もらい、榎澤副会長の音頭で「乾杯！」をしました。待った後のビールって美味しいですね。食事が始まり、木曾路のFさんが料理の説明をしてくれました。説明されると特別な高級料理に思えてくるのが不思議です。食後は「仲良しトリオ」によるリコーダー・ギター演奏、「花水木マジック隊」のウクレレとマジックショー、「お年玉抽選会」と続きました。どれもこれも楽しいアトラクションでした。生の演奏ってやはりいいですね。久しぶりに歌って踊った方もいました。まるで「水を得た魚」のようでした。

総務委員による「お年玉抽選会」も好評でしたよ。くじに当たった瞬間の嬉しそうな顔は本当に生き生きしていました。飲み放題には出来ませんでしたが、今年はビールを多めに用意しました。でも難しいところです。全く飲まない方からは「ビールは乾杯の一杯だけでいい」との意見もありました。そこでアルコールを飲まない方の為にドリンクも準備、お土産に一袋267円のぜんざいを配りましたが、喜んでいただきました。



懇親会 会場

こうして集まって交流していくことが、幸せの原点かなと思う「新年懇親会」でした。運営委員会はじめ会員皆様のご協力にお礼申し上げます。



東星地域会 千種台地域会



若水地域会



振甫地域会



今池地域会



千種地域会



城山地域会

「仲良しトリオ」
小出俊弘さん
関谷潤子さん
山本尚久さん



カントリーロード 翼をください 影を慕いて 青い山脈 ふるさとなど 7曲を演奏



「花水木マジック隊」
大澤之夫さん
坂野幸子さん
間淵とみ子さん
ウクレレとマジック



司会の杉浦さん



係一同で受付とご案内



総務委員長 高橋

第19回 趣味の作品展

行事委員長 南 清貴 (31期 園芸)

開催期間 令和4年 10月12日(水)～10月16日(日)
会場 愛知芸術文化センター12F アートスペースH



「第19回 趣味の作品展」は、10月12日から16日までの5日間開催されました。

今回は、第7波のコロナ禍の中で、作品募集のチラシを7月の花水木だより封入の際に同封していただき、期限ぎりぎりまで出展の受付を致しました。というのは、外出もままならない中で出展を求めていたため作品数が増えず、苦肉の策として対処せざるを得なかったのです。

おかげ様で、絵画17点、写真22点、陶芸9点、絵手紙7点、手芸品など11点に、特別参加の千種区社会福祉協議会の作品2点が加わり、合計68点となりました。



昨年の54作品を上回る出展数となり、会場には延べ362人の観覧をいただいて無事終わることが出来ました。

例年開催している会場、愛知芸術文化センター12階は、期間中好天に恵まれて、空中庭園の見事な景色と反射する緑の優しい光が作品展に彩りを与えてくれました。 会員の皆様の芸術魂は健在で、鍛錬の結晶・力作と共に、千種区社会福祉協議会・デイサービスの方々の作品も花を添えてくださり、感謝申し上げます。



千種区社会福祉協議会の作品



会場の外では美しい「空中庭園」が見られました

出展作品 写真集

絵画



里山風景
水野 茂樹



紫陽花
小澤 一隆



秋の夕暮れ
山田 秋男



昭和塾堂
竹倉 護



ひまわりと帽子
竹倉 護



ジャガ芋
堀 照雄



シンガポールの思い出
高橋 満里



ベトナムの思い出
高橋 満里



桂楫経舟図
山口 勝弘



店先
長谷川 源



ガーデン埠頭の海王丸
坂野 照夫



ガーベラとカーネーション
坂野 照夫



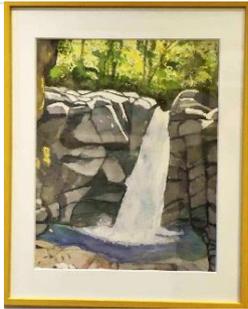
札幌市電「すすきの」
小松 憲次

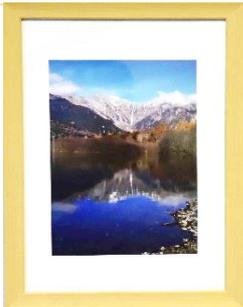


札幌市電「藻岩山」
小松 憲次

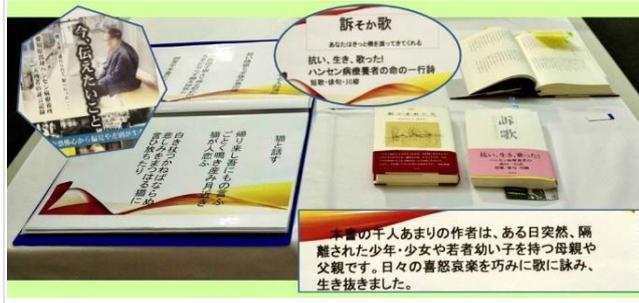


初夏
大澤 之夫

| | | | |
|---|---|--|---|
|  |  | <h1>写真</h1> |  |
| 初夏の滝 波多野 美津子 | ミモザアカシア 波多野 美津子 | | 彦根城にて 渡邊 武通 |
|  |  |  |  |
| 実りの秋 塚原 義政 | 浦東（上海） 加藤 勇 | ガーデンブリッジ(上海) 加藤 勇 | 「孤鳥」 西原 洋一郎 |
|  |  |  |  |
| 可愛い～足！足！ 渡邊 孝子 | 食べすぎちゃった 相場 彰史 | 静寂 山本 一 | 沐浴 九連石 一彦 |
|  |  |  |  |
| 脱成長 長坂 幸弘 | os☆uの皆さん出番ですよ！ 後藤 基之 | モウ～悪疫退散！ 後藤 基之 | 狭小空間 後藤 基之 |

| | | | |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
| 阿寺ブルー 古田 昇 | 偕老同穴 古田 昇 | 日間賀島の夕日 南 清貴 | 青空のように (1) 桑原 守 |
|  |  |  |  |
| 青空のように (2) 桑原 守 | 冬支度 榎沢 征子 | 晩秋 榎沢 征子 | 変貌(1) ささしまライブ 吉田 誠 |
|  | 陶芸 |  |  |
| 変貌(2) 中川運河 吉田 誠 | | 鉢 (三島本) 吉橋 信雄 | 花器 吉橋 信雄 |
|  |  |  |  |
| 花器 (鶴首) 吉橋 信雄 | 花器 (ブルーライト) 山田 秋男 | 植木鉢 2 鉢 大石 扶己子 | カラフル六角皿と小皿 飯田 蓮子 |

| | | | |
|--|---|--|--|
|  |  |  | <h1 style="color: red;">絵手紙</h1> |
| <p>大皿 山口 勝弘</p> | <p>紫陽花 坂野 幸子</p> | <p>器（うつわ）2点 大澤 之夫</p> | |
|  |  |  |  |
| <p>暑中お見舞い状 脇所 耐</p> | <p>果物 脇所 耐</p> | <p>四季の花々（その1） 脇所 耐</p> | <p>四季の花々（その2） 脇所 耐</p> |
|  | | | |
| <p>紀州高野山開祖1200年祭記念の絵手紙</p> | | | <p>脇所 耐</p> |
|  | | | |
| <p>鯨城学園・なごやか絵手紙クラブ卒業旅行</p> | | | <p>脇所 耐</p> |
|  | <h1 style="color: red;">手芸等</h1> | |  |
| <p>季節の絵手紙 古田 昇</p> | <p>木目込み人形・ 「ひな人形」 鈴木 須美子</p> | | <p>「干支・卯」 鈴木 須美子</p> |

| | | |
|---|--|--|
|  |  |  |
| <p>押花（花いっぱい） 坂野 幸子</p> | <p>押花（ホームパーティ） 坂野 幸子</p> | <p>花だより集 尾崎 達男</p> |
|  |  |  |
| <p>Amabie・コロナ退散 大石 扶己子</p> | <p>瓢箪飾り（2体） 大石 扶己子</p> | <p>訴歌（あなたはきっと橋を渡って来てくれるか） 飯田 蓮子</p> |
|  |  |  |
| <p>俳句「秋の虹」 福島 好明</p> | <p>俳句「新涼」 福島 好明</p> | <p>ジオラマ タミヤvsイタレリ 檜澤 一也</p> |
| <p style="color: red; font-size: 2em;">特別参加</p> |  | |
| | <p>幸せを運ぶ押絵 社協なでしこ会</p> | <p>切り絵 いつ落ちる 千種在宅サービスセンター</p> |

絵画

出展作品目録

| 番号 | 期 | 専攻 | 氏名 | 題名 |
|----|----|------|--------|--------------|
| 1 | 20 | 文化 A | 水野 茂樹 | 里山風景 |
| 2 | 20 | 美術 | 小澤 一隆 | 紫陽花 |
| 3 | 26 | 陶芸 | 山田 秋男 | 秋の夕暮れ |
| 4 | 28 | 美術 | 竹倉 護 | 昭和塾堂 |
| 5 | 28 | 美術 | 竹倉 護 | ひまわりと帽子 |
| 6 | 28 | 園芸 | 堀 照雄 | ジャガ芋 |
| 7 | 30 | 環境 | 高橋 満里 | シンガポールの思い出 |
| 8 | 30 | 環境 | 高橋 満里 | ベトナムの思い出 |
| 9 | 30 | 陶芸 | 山口 勝弘 | 桂掛経舟図 |
| 10 | 30 | 福祉 | 長谷川 源 | 店先 |
| 11 | 32 | 美術 | 坂野 照夫 | ガーデン埠頭の海王丸 |
| 12 | 32 | 美術 | 坂野 照夫 | ガーベラとカーネーション |
| 13 | 32 | 美術 | 小松 憲次 | 札幌市電「すすきの」 |
| 14 | 32 | 美術 | 小松 憲次 | 札幌市電「藻岩山」 |
| 15 | 32 | 陶芸 | 大澤 之夫 | 初夏 |
| 16 | 33 | 国際 A | 波多野美津子 | 初夏の滝 |
| 17 | 33 | 国際 A | 波多野美津子 | ミモザアカシア |

写真

| 番号 | 期 | 専攻 | 氏名 | 題名 |
|----|----|------|--------|-----------------|
| 1 | 19 | 美術 | 渡邊 武通 | 彦根城にて |
| 2 | 21 | 生活 A | 塚原 義政 | 実りの秋 |
| 3 | 21 | 福祉 | 加藤 勇 | 浦東（上海） |
| 4 | 21 | 福祉 | 加藤 勇 | ガーデンブリッジ（上海） |
| 5 | 22 | 文化 A | 西原 洋一郎 | 孤鳥 |
| 6 | 22 | 生活 A | 渡邊 孝子 | 可愛い～足！足！ |
| 7 | 22 | 文化 A | 相場 彰史 | 食べすぎちゃった |
| 8 | 23 | 生活 A | 山本 一 | 静寂 |
| 9 | 24 | 地域 | 久連石一彦 | 沐浴 |
| 10 | 28 | 美術 | 長坂 幸広 | 脱成長 |
| 11 | 29 | 健康 B | 後藤 基之 | os☆u の皆さん出番ですよ！ |
| 12 | 29 | 健康 B | 後藤 基之 | モウ～悪疫退散！ |
| 13 | 29 | 健康 B | 後藤 基之 | 狭小空間 |
| 14 | 31 | 地域 B | 古田 昇 | 阿寺ブルー |
| 15 | 31 | 地域 B | 古田 昇 | 偕老同穴 |
| 16 | 31 | 園芸 | 南 清貴 | 日間賀島の夕日 |
| 17 | 32 | 地域 A | 桑原 守 | 青空のように（1） |
| 18 | 32 | 地域 A | 桑原 守 | 青空のように（2） |
| 19 | 33 | 健康 A | 糊澤 征子 | 冬支度 |
| 20 | 33 | 健康 A | 糊澤 征子 | 晩秋 |
| 21 | | 特別会員 | 吉田 誠 | 変貌（1）ささしまライブ |
| 22 | | 特別会員 | 吉田 誠 | 変貌（2）中川運河 |

陶芸

| 番号 | 期 | 専攻 | 氏名 | 題名 |
|----|----|----|--------|------------|
| 1 | 18 | 環境 | 吉橋 信雄 | 鉢（三島本） |
| 2 | 18 | 環境 | 吉橋 信雄 | 花器 |
| 3 | 18 | 環境 | 吉橋 信雄 | 花器（鶴首） |
| 4 | 26 | 陶芸 | 山田 秋男 | 花器（ブルーライト） |
| 5 | 28 | 陶芸 | 大石 扶巳子 | 植木鉢 2 鉢 |
| 6 | 30 | 陶芸 | 飯田 蓮子 | カラフル六角皿と小皿 |
| 7 | 30 | 陶芸 | 山口 勝弘 | 大皿 |
| 8 | 32 | 陶芸 | 坂野 幸子 | 花器 |
| 9 | 32 | 陶芸 | 大澤 之夫 | 器（うつわ）2 点 |

絵手紙

| 番号 | 期 | 専攻 | 氏名 | 題名 |
|----|----|------|------|-----------------------|
| 1 | 29 | 生活 B | 脇所 耐 | 暑中お見舞い状 |
| 2 | 29 | 生活 B | 脇所 耐 | 果物 |
| 3 | 29 | 生活 B | 脇所 耐 | 四季の花々（その 1） |
| 4 | 29 | 生活 B | 脇所 耐 | 四季の花々（その 2） |
| 5 | 29 | 生活 B | 脇所 耐 | 紀州高野山開祖 1200 年祭記念の絵手紙 |
| 6 | 29 | 生活 B | 脇所 耐 | 鯨城学園・なごやか絵手紙クラブ卒業旅行 |
| 7 | 31 | 地域 B | 古田 昇 | 季節の絵手紙 |

手芸品等

| 番号 | 期 | 専攻 | 氏名 | 区分 | 題名 |
|----|----|------|--------|--------|------------------------|
| 1 | 28 | 文化 A | 鈴木 須美子 | 木目込み人形 | ひな人形 |
| 2 | 28 | 文化 A | 鈴木 須美子 | 木目込み人形 | 干支・卯 |
| 3 | 32 | 陶芸 | 坂野 幸子 | 押し花 | 花いっぱい |
| 4 | 32 | 陶芸 | 坂野 幸子 | 押し花 | ホームパーティ |
| 5 | 26 | 文化 A | 尾崎 達雄 | 花便り | 花便り集 |
| 6 | 28 | 陶芸 | 大石 扶巳子 | 毛糸作品 | Amabie・コロナ退散 |
| 7 | 28 | 陶芸 | 大石 扶巳子 | 手芸品 | 瓢箪飾り（2 体） |
| 8 | 30 | 陶芸 | 飯田 蓮子 | 俳句等 | 訴歌（あなたはきっと橋を渡って来てくれるか） |
| 9 | 30 | 文化 A | 福島好明 | 俳句 | 秋の虹 |
| 10 | 30 | 文化 A | 福島好明 | 俳句 | 新涼 |
| 11 | 31 | 生活 B | 檜澤 一也 | ジオラマ | タミヤ vs イタリア |

特別参加

| 出展 グループ | 題名 |
|--------------------------|-----------|
| 千種区社会福祉協議会（なでしこ会） | 幸せを運ぶ押絵 |
| 千種区社会福祉協議会（千種在宅サービスセンター） | 切り絵・いつ落ちる |

趣味の作品展 千種区社会福祉協議会の事務所内でも展示

総務委員 IT 担当 古田 昇 (31 期地域 B)

愛知芸術文化センターのアートスペースHで展示された作品のうち、絵画と写真を千種区社会福祉協議会の1階事務所壁面に展示していただきました。

社会福祉協議会では花水木鯨城会会員たちの力のこもった作品を、来所される多くの



一般の方々に見ていただこうと、展示スペース、展示期間などご配慮賜りました。展示期間は、令和4年11月14日(月)から12月23日(金)までとして、事務所の壁面スペースの関係から、対象作品



を3回に分けて展示しました。おかげで、社会福祉協議会を訪れる一般の方々や研修室で開設している「コーヒーサロン」に来店された方も鑑賞され、花水木鯨城会の活動を知っていただきました。事務所の皆さんからも、素晴らしい作品ばかりで癒されましたと言葉があり嬉しく思いました。来年も多くの作品が集まるといいなと思っています

千種区社会福祉協議会からお礼状が届きました

令和4年度 キラキラサンタ事業 ご協力のお礼

令和5年1月吉日

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は本会の運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年度に引き続き今年度もキラキラサンタ事業にご協力をいただき、誠にありがとうございました。花水木鯨城会様のご協力をいただいたお陰で、どの会場も大変賑やかなものとなりサロン主催者及び参加者から、とても楽しかったとの声を多数いただくなど、大好評のうちに終えることができました。本会として、今後も、さまざまな事業に取り組んでまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

| | |
|--------------|--------------------------|
| 《実績報告》ご協力会場数 | 13会場 (子育てサロン8、保育園3、児童館2) |
| ご協力者数 | 延べ20名 |
| プレゼント配布数 | 約170個 |



第21回 鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会観戦記

木下 幸紀 (25期 地域)

令和4年10月26日(水)、庄内緑地公園陸上競技場で、3年ぶりに鯨城会主催の「第21回鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会」が開催されました。約200名の参加者で、新型コロナの影響により、前回よりも1割程度減員になりました。



今回の交歓会は簡素化の観点から区対抗戦を割愛し、個人戦と各区の会長によるニアピン戦となりました。また、通勤・通学時間帯での移動を回避するため、集合時間を10時半にするなどの工夫をしました。集合時間の変更に伴い、昼食持参となりましたが、小澤さんからコーヒースティックの提供があり、和気藹々とコーヒブレイクを楽しみました。

千種区の戦績は桑原さんが2位入賞を果たしましたが、前回は佐治さんの優勝がありましたので、少し残念な結果と言えます。なお小松会長が個人戦とニアピン戦に参加されました。戦績はともあれ、鹿子公園での練習にも参加され、ゴルフで培われたボールさばきを随所で見せて頂きました。

今回の千種区の参加申込者は17名でしたが、1名が腰痛でリタイアとなり、当日の参加者は16名となりました。グラウンド・ゴルフ同好会からが8名、会員外が8名でした。従来、会員外については過去の参加者への声かけにとどまっていたのですが、今回は花水木だより8月号に交歓会の開催要項を掲載して頂き、周知効果があったものとみられます。来年はさらに会員外の方々の多数の参加を期待しております。

最後に、交歓会の運営で重要な役割を務める記録確認者(スコアカード記入者)を竹倉さんと馬場さんをお願いしました。滞りなく終了することができ、心よりお二人に感謝申し上げます。



第5回 鯨城会 16区フェスティバル開催

行事委員長 南 清貴 (31期 園芸)

3年ぶりの16区フェスティバル開催にあたり、実行委員に指名されました。7月25日に第一回委員会が開かれ、久しぶりの開催に向けて私とサポーターの坂野さんが出席して、計5回協議が行われました。まず、コロナ禍の中で、感染防止に対処できる協議を決めるのに難航し、最終的には、

- ① 負けるが勝ち ジャンケンポン
- ② かにさん横歩きボール運び
- ③ 輪投げ ④ 玉入れ

の4ゲームに決定、ゲームごとに、担当を割り振り、私と坂野さんは、「玉入れ」を担当することになりました。



かにさん横歩きボール運び



各区の鯨城会も参加者を募りましたが、コロナ禍の中で、思うように集まらず、1ゲームに最大20名の参加者を集めるのに苦労したようです。

幸いにも花水木鯨城会は、運営委員会で14名、地域会で21名、合計35名の参加者を得て、各ゲームに張り切っていたいただき、16区中の1位の良い結果となりました。

参加者の皆さんは点数表の前で記念写真を撮り、喜びを分かち合いました。

コロナも3年目となり、コロナ禍の前の、なんの心配もなく、飲み食いができる様に、いつになれば戻るのか、一刻も早く戻ってほしいと願うのですが、こればかりは、神のみぞ知るごとのようです。正常になるまで、元気で過ごして乗り切りましょう。



16区中で1位となり大興奮



応援席「花水木！頑張れ！」

「コーヒーサロンサークル」最近の活動状況

協所 耐 (29 期 生活B)



コーヒーサロンは、社会奉仕の一環として、十数年前に花水木鯉城会の諸先輩により立上げ推進してまいりましたが、昨年4月頃、長年使ってきた「コーヒーサーバー(マシン)」がとうとう壊れてしまい、新しい「コーヒーサーバー」導入を機に、運営も新たに世話人会を設けることにしました。世話人会のメンバーは、小松会長、樫澤副会長、歴代の会長であった片山氏、松川氏、二宮氏の3名、及び小川氏、協所の7名の構成となりました。

運営方針は、新名称を「**コーヒーサロンサークル**」とし、同好会ではなく花水木鯉城会ボランティア活動の自立した重要な位置づけをして発足しました。運営経費を色々検討した結果、サロン来店の方から「一杯50円」を頂くことになりました。



新発足以来、「コロナ禍」の悪環境下で止

む無き開催中止を幾度も経験、且つ再開しても参加者がごく少数という状態でした。い



かに集客するか検討の結果、宣伝を行い

「**おいしいコーヒーと素敵なひとときを**」

と題してアトラクションを行うことを決

め、昨年11月18日(金)には「懐かしの

歌をウクレレとピアノ演奏で歌う会」、12

月1日(木)に「ハーモニカ同好会による

生演奏」、12月19日(月)は「クリスマス

折紙の会」(折紙でサンタクロースを作

る)等などの催しにより、成功を収めることが出来ました。今後も引き続き、お客様に

「素敵なひととき」を過ごして頂ける様、取り組んでまいります。どなたでも、自由に

参加できますので、ぜひ遊びに来てください。

場所は、千種区社会福祉協議会の1F研修室 千種区西崎町2-4-1

地下鉄「本山」「覚王山」から徒歩10分 市バス「田代本通り北」から徒歩3分です。

今後の**開店日程**をお知らせします。**開店時間**は午後12時30分から14時です

開店日 2月6日(月) 2月15日(水) 3月8日(水) 3月16日(木) 4月3日(月)
4月20日(木) 5月1日(月) 5月18日(木) 6月7日(水) 6月15日(木)
6月16日(金) お待ちしております。

最近の社会奉仕活動から

社会奉仕委員長
檜澤 一也 (31期 生活B)



■堀川清掃大作戦

11月5日(土)、3年ぶりに行なわれました。当方参加メンバーは12名でした。清掃担当場所は岩井橋から松重閘門までの堀川両岸で、距離にして600メートルほどです。大したゴミもないまま、松重閘門公園で、集めたゴミを分類してあっさりと終わりました。

あっさりではありますが、堀川と生活を考える会、学生会、区鯉城会の三位一体イベントとうたいながら、何の相互交流もなく、終了挨拶もない流れ解散では、何か物足りなさを感じます。参加人数も減っているようだし、今後どのように展開するか喫緊の課題です。

ついでに、松重閘門はよく見ると趣のある良い建造物ですので、傷まないうちに周囲を整備すると新しい観光名所になりそうです。こちらにも喫緊の課題でしょうか。



12月4日 千種児童館にて

■児童館でクリスマス工作

見てください！このかわいいクリスマス玩具。ターンテーブルには次々と色が変わるLEDが仕込まれており、雪のパターンが美しく輝きます。サンタと雪ダルマは、自分自身クルクル回りながら中央のツリーの周りを回ります。これの作り方を指導いたしました。

大変魅力的な外見ですが工作自体はそう難しくなく、子供たちは順調に作業を完了させて、満足そうでした。北村先生の見事なアイデアには、毎回感心させられます。

この工作イベントを楽しみに来た子供たちより、もっと楽しんだのは私たちメンバーではなかったでしょうか。「うわー！回った回った」などと言いながら、喜々として自分の作品をお持ち帰りいたしました。いい歳をして無邪気なものです。もちろん私も。



■キラキラサンタ活躍

今年はお出張場所 13 カ所、参加メンバー延べ 20 名という規模で実施いたしました。毎度のことですが、ママに抱っこされて来る年齢のお子さんにとって、サンタの赤い服はまだしも、真っ白な髭には違和感があるようで、かなりの確率で泣かれてしまいます。

それでもプレゼントを渡そうとすると、涙をためたまま小さな手を出して来て、かわいいです。受け取ったプレゼントをしっかりと抱いて、泣き顔のままバイバイして帰っていく姿はもっとかわいいです。

そういうシーンをお見せしたいところですが、プライバシーの保護と言うことで、サンタのオジサンとトナカイのオバサンの写真しか掲載できないのが残念です。それはさておき、オジサン、オバサン、熱演いただきましてありがとうございます。

編集後記

今年度後半になり、花水木鯨城会も少しずつ元気を取り戻し、2年ぶり3年ぶりの活動再開で、多くのイベントが開催されました。「花水木だより 99号」では、そんな行事の様子を掲載しました。

しかし諸事情で、行事や活動に参加できなかった会員の皆様にも、毎日楽しく健康で、幸せに生きるヒントや情報をみつけてお伝えすることが「花水木だより」の使命と思っています。私も花水木に入れていただいてから、沢山の方にお会いできましたが、本当に素敵な生き方をされている方が多いと感じています。平凡でも充実した毎日、ささやかな幸せを楽しむ生活、元気の秘訣、永い経験からつかんだ知恵など等、日常のエピソードも記事にできればと願っています。先が不透明な、不安が残る世の中ですが、数々の激動の時代を生き抜いてきた花水木鯨城会会員の皆さんですので、したたかに元気に過ごされると信じています。

| | | |
|-------|-----|-----------------|
| 広報委員会 | 委員長 | 大澤 之夫 (32期 陶芸) |
| | 委員 | 大村 悦郎 (30期 生活A) |
| | | 桑原 守 (32期 地域A) |



今後の行事予定

■名古屋ウィメンズマラソン・ボランティア

期 日 令和5年 3月12日 (日)

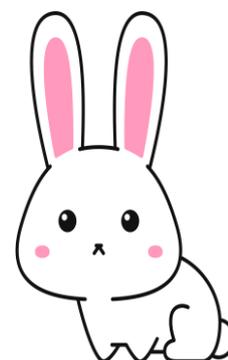
■令和5年度総会および懇親会

花水木鯨城会の総会、34期生歓迎懇親会が開催されます。
なにとぞ、万障お繰り合わせのうえ御参加のほど、お願い申し上げます。

| | | | |
|-----|----------------------------|--------------|---------------|
| 日 時 | 令和5年4月12日 (水) | 総会 | 10時30分～11時30分 |
| | | 歓迎懇親会 | 12時～14時 |
| 会 場 | 木曾路 瓦町店 | 中区新栄1丁目27-17 | |
| 内 容 | 令和5年度 総会・34期生歓迎懇親会 | | |
| 会 費 | 懇親会費用は 一人 4,000円 | | |
| 申込み | 3月20日までに、懇親会費を添えて申し込みください。 | | |

次号予告「花水木だより 100号」

| | |
|-----|---------------|
| 封入日 | 令和5年4月28日 (金) |
| 発行日 | 令和5年5月 2日 (火) |



花水木だより 99号

| | |
|-----|---------------|
| 発 行 | 花水木鯨城会 |
| | 名古屋市高年大学 鯨城学園 |
| 発行日 | 令和5年 2月7日 (火) |
| 発行人 | 会 長 小松 憲次 |
| 編集人 | 広報委員長 大澤 之夫 |